

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
心理学 Psychology		1年・2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(社会福祉士主任任用資格、介護福祉士)	なし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
なし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし				
担当に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小竹仁美	講義棟3階	水・木・金 (授業時間と学生相談時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
心理学は人の心と行動を科学的に研究し、理解しようとする学問であり、人の生活に貢献することを目指すものである。この授業では①心理学の基礎領域、②心理学の応用領域、を学習内容として、心、身体、社会の相互関連性を理解し、日常生活において発見し適切に行動する力の習得を図る。				
授業の目標				
①心理学的なものの見方や考え方の知見を得て、それらを日常生活の中で発見することができるようにする。②生活の中で心理学が生かされていることを認識し、これまでの自分の体験と照合して、これからの生活をよりよくしようとする態度をとることができるようにする。③人の心と身体と社会は相互に関連していることを踏まえ、建設的な生き方を選択しようとする態度をとることができるようにする。				
授業の方法				
主に講義形式。				
学習の成果 (学習成果)				
この授業に積極的に参加すると①心理学的なものの見方や考え方を日常生活の中で発見することができる。②幼少期から現在までの自分の成長発達を振り返り、過去と現在をつなぎ、少し先の将来を見通した行動をとることができる。③人は、個人内、個人間、環境との相互関連性の中で生活していることを前提に、自らの行動をより適応的に選択することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス：授業概要や目標の説明 成績評価と受講上のルール説明 心理学と人や社会			
第2回目	乳幼児の能力、親と子の愛情、幼児と大人の認識の違い			
第3回目	子どもから大人へ、他者とのかかわり			
第4回目	家族のライフサイクル			
第5回目	1回目～4回目までの授業内容を再学習 質疑応答 復習のための小テスト①			
第6回目	感情の制御、他者感情の理解、感情と記憶			

第7回目	自己肯定感、自己決定感、動機づけ		
第8回目	性格の考え方、性格への遺伝の影響、行動を決めるもの		
第9回目	パーソナリティのアセスメント		
第10回目	6回目～9回目までの授業内容を再学習 質疑応答 復習のための小テスト②		
第11回目	臨床心理学の歴史、精神医学との違い		
第12回目	臨床心理学の理論的モデルと介入の技法		
第13回目	発達の障害・精神の障害		
第14回目	11回目～13回目までの授業内容を再学習 質疑応答 期末試験		
第15回目	臨床心理の実践現場		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度			
レポート			
調査報告書			
小テスト	50%	2回の小テストを各25%ずつとして評価する。得点率6割以上を合格とする。不合格者には1回の再チャレンジチャンスを用意する。	
試験	50%	得点率6割以上を合格とする。S評価は、小テストおよび期末試験の総得点が9割以上とする。	
発表内容 (態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
毎回資料を配布する。			
履修上の留意点・ルール			
私語は厳禁である。			